

# 作品番号029-1

横浜(権太坂)・O邸 新築工事 2007.10



## 自立循環型住宅

住宅の立地条件および住まい方に応じて自然エネルギーを活用し、居住時のエネルギー消費量を削減させた住宅です。この計画ではさらに、居住性と利便性が向上するよう建物と設備配置をデザインしています。



井川建築設計事務所

### 設計ポイント

#### ①自然昼光利用

建物密集地域であること、屋上側の敷地が高いことから住宅内に自然風を多く取り込むため、風圧力の差を利用した開口部を設計。外構計画においては風は通ってきたところの熱の影響を受けるため、主な流入口となるリビング開口部前に植栽とデッキを設けて流入空気の温度が下がる計画とした。

#### ②昼光利用

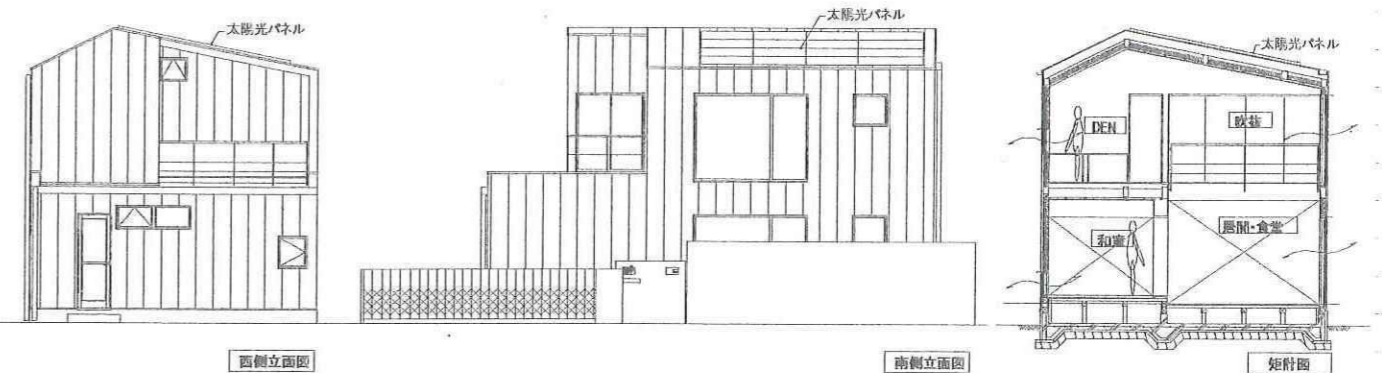
南面の吹抜部分から採光を取る事により、室内床面照度の均一性を高めた。刻々と変化する昼光は、人工照明にない天候や雲の流れによる時間変化や明暗の差をつくりだし、昼光のみが作り出す環境が住まい手に視覚的な快適性も高める計画とした。

#### ③太陽光発電

南面屋根に太陽光発電パネルを配置し、電力を自己生産しランニングコストを抑える計画とした。パネル配置と屋根勾配を検討し、太陽光発電パネルの姿が見えないデザインとした。

#### ④暖房設備計画

住宅のエネルギー消費のなかで暖房エネルギーの占める割合が多いため、適切な設備計画を選択することが大きな省エネルギー設計となる。住まい手が今後、比較的在宅時間の長いライフスタイルとなることが予想されるため、夜間電力を利用した電気蓄熱床下暖房システムを採用。ランニングコストを抑えてオープンプランの今回の計画においても住宅全体の温度差が少ない温熱環境を計画した。



### DATA

主要用途: 専用住宅  
 家族構成: 夫婦  
 構造・規模: 木造軸組工法、地上2階建  
 建築面積: 63.76㎡(34.78% ≤ 50%)  
 1階床面積: 63.76㎡  
 2階床面積: 28.15㎡

### FINISHES

外部仕上げ  
 屋根: ガルバリウム、タテハゼ葺き  
 外壁: 同上  
 開口部: アルミサッシ、ペアガラス  
 デッキ: イベt20 木材保護塗装  
 バルコニー: 同上

内部仕上げ  
 床/1F: 無垢ナラフローリング t15(一部縁なしタタミ)  
 2F: 無垢ナラフローリング t15

壁/PB12.5下地処理の上 クロス仕上げ  
 天井/PB9.5下地処理の上 クロス仕上げ

主要設備機器メーカー  
 電気設備: オール電化 エコキュート  
 屋上太陽光発電3.0KW(シャープ)  
 床暖房設備: 電気蓄熱床下暖房(エナーテック(株))  
 衛生機器: TOTO  
 厨房機器: Pitto(サンウエーブ)

### ARCHITECT

### COLLABORATOR

### CONCEPT

旧東海道の権太坂はその昔、旅人がキツイ坂を上り終えて休憩した際、近くに居た耳の遠い老人に坂の名前を尋ねたところ、自分の名前を聞かれた老人が「権太」と答え、広まったと言われている坂です。

施主Oさんは、退職後にご夫婦でお住まいになる場所として旧東海道のこの地を選ばれました。この地を選ばれた理由としては、「独立した子供達が現代のハードな流れを乗り越えフツとした瞬間に休憩した際、この権太坂の地に帰ってきたくなるような住まい」「家族が気軽に集える住まい」を計画したいという思いからでもありました。

横浜・O邸は、ご夫婦お二人で生活をされている時、家族が集まったとき、その時々での各個人の程よい距離が保てるように計画しました。

また、ご夫婦の住宅での滞在時間が比較的に長くなることが予想されるため、生活に必要なエネルギー供給を出来るだけ他者から受けずに済むような「自立循環型住宅」を計画しました。



# 作品番号029-2

